知っていますか？

セルフ・ネグレクト

～身近に潜むセルフ・ネグレクトの理解と予防を考える～

「セルフ・ネグレクト（自己放任）」とは、自分の生活に極度に無関心となり、著しく生活環境や健康状態が悪化している状態を言います。ゴミ屋敷や支援拒否、孤立死の要因として、近年は高齢者だけでなく若い世代や働き盛りの世代にも静かに広がっています。何らかのきっかけで、誰にでも起こり得るセルフ・ネグレクト。まずは、その実態と背景を学び、自分自身や身近な人・地域での予防や関わりについて考えてみませんか。



【講師】東京医療保健大学　副学長
大学院看護学研究科　教授
岸（きし）　恵美子（えみこ）氏









令和9年 2月5日（金）　14:00～16:00（13:30開場）

【会　場】　川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）

【対　象】　川崎市在住・在勤・在学の方

【定　員】　２５名（定員を超えた場合は抽選）

【受講料】　無料

【申　込】　裏面の二次元コードより申込

【締　切】　令和９年１月１２日（火）１０時締切

講師紹介

東京医療保健大学　副学長、大学院看護学研究科　教授　岸（きし）　恵美子（えみこ）氏

東京医療保健大学 副学長・東が丘看護学部長／大学院看護学研究科 教授。
日本赤十字看護大学大学院博士後期課程修了。看護学博士。東京都板橋区、北区で16年間保健師として勤務した後、自治医科大学講師、日本赤十字看護大学准教授、帝京大学教授、東邦大学大学院教授を経て、2025年より現職。
セルフ・ネグレクト、ごみ屋敷、高齢者虐待、高齢者の孤立、保健師教育について主に研究。
日本地域看護学会副理事長、日本公衆衛生看護学会監事、日本在宅ケア学会監事、日本公衆衛生学会代議員、全国保健師教育機関協議会監事等、看護学の教育・研究に関わる複数の委員を務める。
千代田区高齢者虐待防止推進委員会委員長、渋谷区介護保険運営協議会委員長、世田谷区生活環境保全審査会委員長等の自治体の審議会等委員を複数務める。
著書等：監修『保健学講座1~5』（メヂカルフレンド社）、編著『看護判断のための気づきとアセスメント　地域・在宅看護』（中央法規）、『ルポ ゴミ屋敷に棲む人々 孤立死を呼ぶ「セルフ・ネグレクト」の実態』（幻冬舎新書）、『セルフ・ネグレクトの人への支援　ゴミ屋敷・サービス拒否・孤立事例への対応と予防』（中央法規）、『セルフ・ネグレクトのアセスメントとケア　ツールを活用したゴミ屋敷・支援拒否・8050問題への対応』（中央法規）、『ごみ屋敷に住む人の心理と支援がわかる本』（中央法規）他。

申込

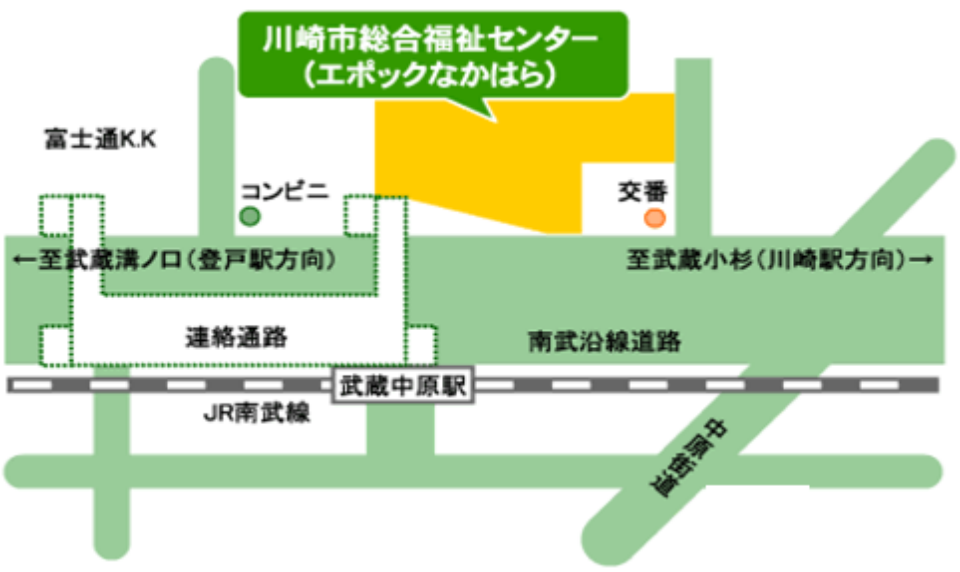
①右記の二次元コードよりお申込みください。 申込み時に受付完了のメールが届いているか必ずご確認ください。
②二次元コードによるお申込みが難しい場合はご連絡ください。申込書をFAXや郵送にて送付いたします。
【TEL】044-739-8726（受付時間：平日8：30～17：00）
※締切後、抽選結果をメール、もしくは郵送にて通知いたします。

申込二次元コード

又は、川崎市福祉人材バンクHPから
https://kawasaki-jinzaibank.jp

会場

〒211-0053
川崎市中原区上小田中6-22-5
川崎市総合福祉センター
６階 研修室
（エポックなかはら）
ＪＲ南武線 武蔵中原駅徒歩1分



お問合せ

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会　川崎市福祉人材バンク
〒211-0053
川崎市中原区上小田中6-22-5
川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）5階
【TEL】044-739-8726　/　【FAX】044-739-8740
【E-mail】jinzai-kensyu@csw-kawasaki.or.jp